

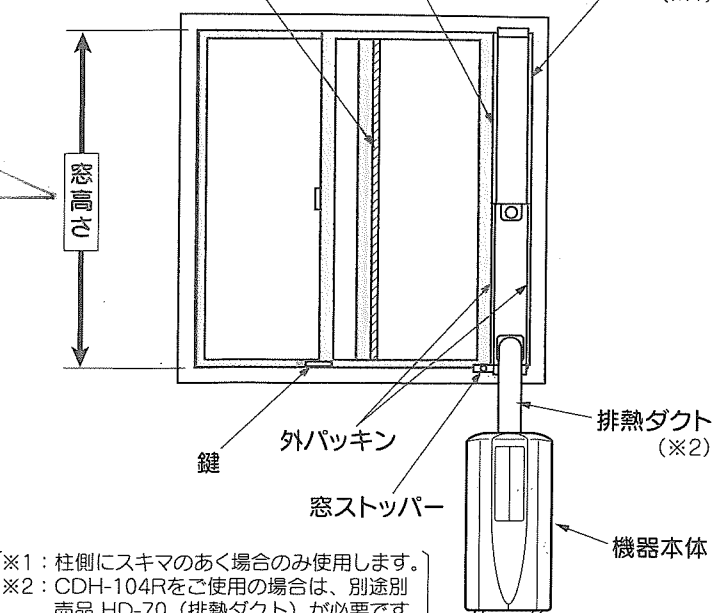
取付可能窓高さ

HDP-50M	72.5cm～83.5cm※
HDP-70M	82cm～133cm
HDP-100M	133cm～162cm
HDP-180M	162cm～200cm

※窓高さが72.4cm以下の場合、HDP-50Mの内パネルをカットすることにより、40cmの小窓まで取り付けられます。

- 台風や暴風雨のとき、また長期外出するときなどは、雨戸や窓をしめてください。
- この取付説明書に従って正しく取り付けてください。
- あまった部品も保管しておいてください。
- 同梱されているダクトアダプターは「CDH-104R」「CDW-161」には使用しません。

完成図



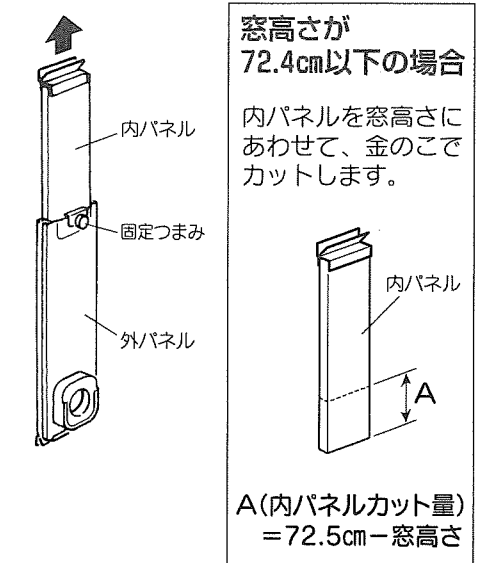
※1: 柱側にスキマのあく場合のみ使用します。
※2: CDH-104Rをご使用の場合は、別途別売品 HD-70 (排熱ダクト) が必要です。

付属品

略図	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
名称	内パッキン(短い) ※HDP-50M・HDP-180Mは長い	外パッキン(長い) ※HDP-50M・HDP-180Mは短い	アルミテープ	補助金具	木ねじ	ドリリングねじ(なべ頭)	パテ	補助パッキン(長い)	柱パッキン(短い)	ダクトアダプター	窓ストッパー	鍵(ドリリングねじ(皿頭)2個)
数	1	2	2	2	4	4	1	2	1	1	1	1

1 パネルを組み立てます

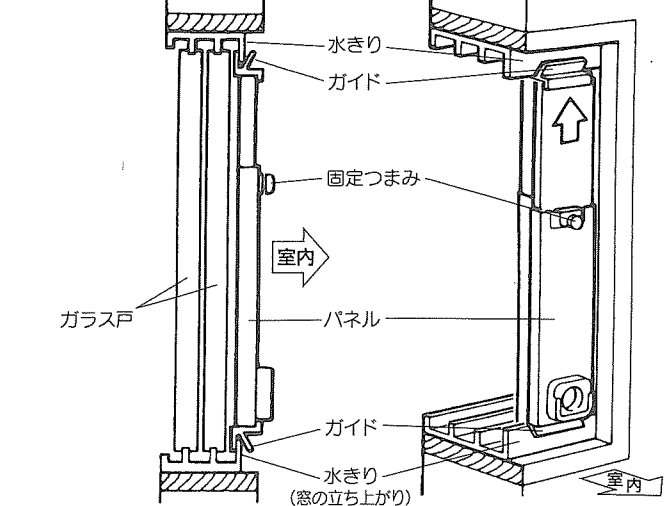
1. 固定つまみをゆるめて内パネルを抜きます。
2. 外パネルの上部から外パッキン②を差し込みます。
3. 内パネルの下部から内パッキン①を差し込み、内パッキンが抜けないようにアルミテープ③を貼り付けます。
4. 外パネルに内パネルを差し込みます。



※窓高さ 72.5 cm～83.5 cm の場合、カットは不要です。

2 ダクトパネルを窓に取り付けます

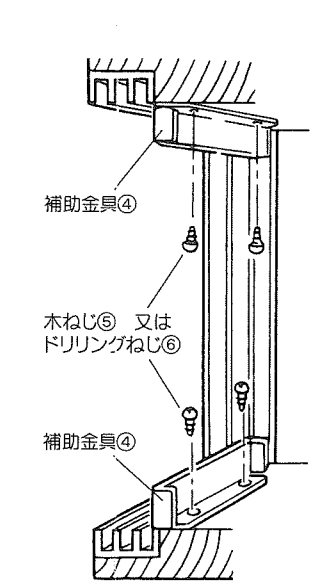
●窓を開けてダクトパネルのガイドをアルミサッシの水きりに入れ、パネルを上下に伸ばしながら固定つまみをきつく締めて、ガタのないようにします。



※窓の形状に合わせて、はさみなどで内パッキン①・外パッキン②をカットしてください。

パネルのガイドがアルミサッシの水きりに固定できない場合(水きりの高さが13mm以下の場合や水きりがない場合)

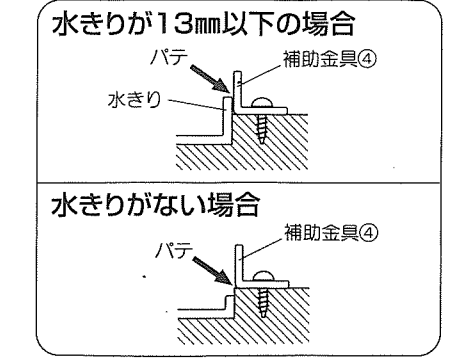
●上側と下側に補助金具④を取り付けたのち、パネルを補助金具④に取り付けます。



- 補助金具④の固定方法**
- 下地が木の場合は木ねじ⑤をします。
 - 下地が金属の場合はドリリングねじ⑥をします。

パテ⑦の詰めかた

- 補助金具④と水きり、または、下地とのすき間にパテ⑦を詰めて雨水の浸入を防ぎます。

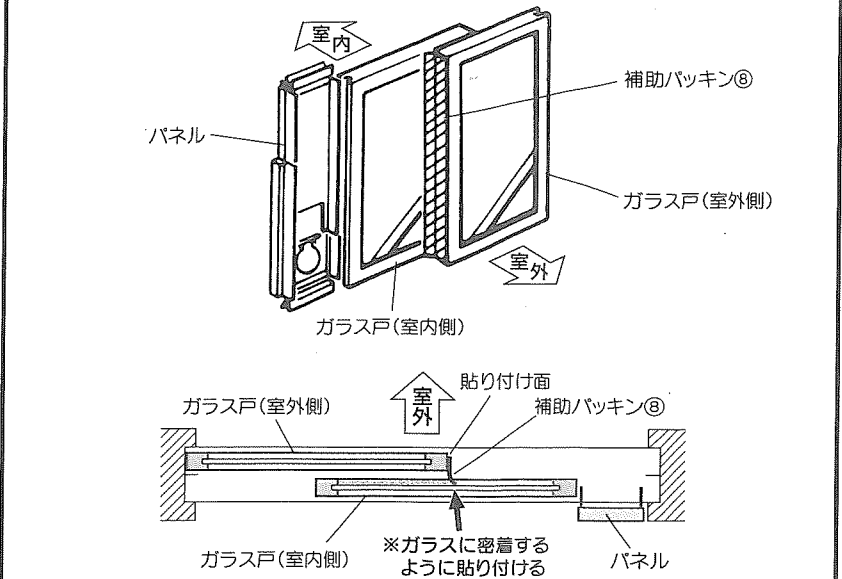


3 補助パッキン⑧を貼り付けます(透明フィルムの長い方)

●ガラス戸のすき間から外気や虫などが侵入するのを防止するため、室外側のガラス戸に補助パッキン⑧を貼り付けてください。

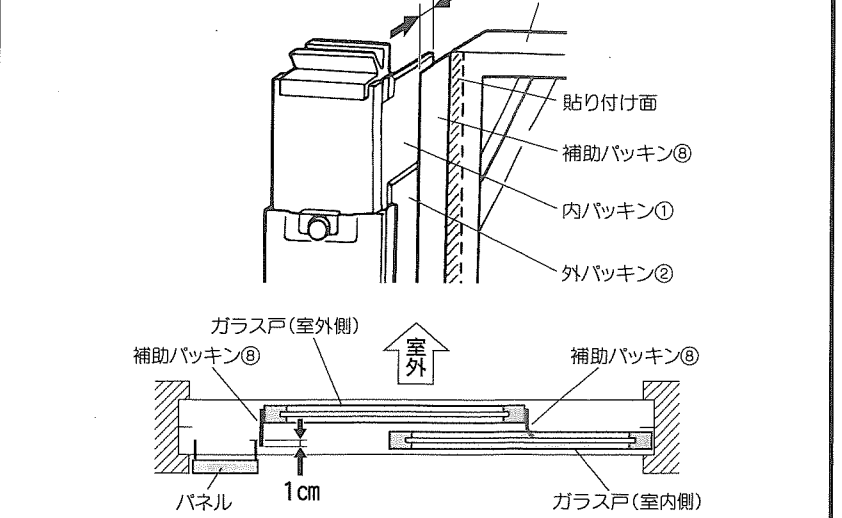
1. ガラス戸の高さと同寸法の長さの補助パッキン⑧をカットします。

2. 室外側のガラス戸に補助パッキン⑧を図のように貼り付けます。



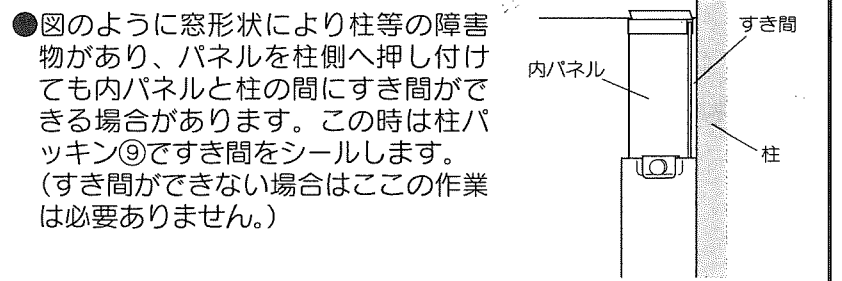
左側取付の場合

1. 上記「1」「2」を行い室外側のガラス戸に補助パッキン⑧を貼り付けます。
2. もう1枚の補助パッキン⑧も同寸法にカットし、室外側のガラス戸左端に貼り付けます。このとき内パッキン①・外パッキン②と補助パッキン⑧が1cm程度かさなるように貼り付けてください。



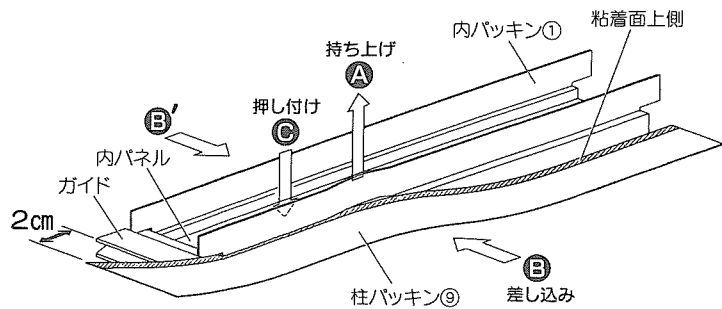
4 内パネルと柱のすき間に柱パッキン⑨を貼り付けます(透明フィルムの短い方)

●図のように窓形状により柱等の障害物があり、パネルを柱側へ押し付けても内パネルと柱の間にすき間ができる場合があります。この時は柱パッキン⑨ですき間をシールします。(すき間ができない場合はこの作業は必要ありません。)



→表面から続きます

1. 固定つまみをゆるめ、パネルを窓からはずし、内パネルをぬきとります。
2. 粘着面を上向きにした柱パッキン⑨を、内パネルの内パッキン①をめくり上げてできたすき間にA→B→Cの手順で貼り付けていきます。このとき柱パッキン⑨は、ガイド上端から約2cm出して上から下までよく中に差し込みながら貼り付けます。



※貼り付け後も十分に接着させるよう上から手でよく押さえ付けてください。

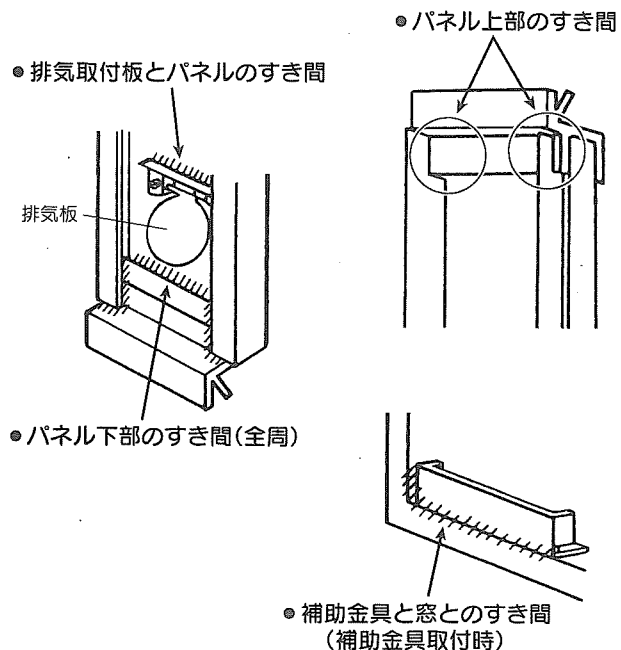
3. 柱パッキン⑨を外パッキン②の内側に入れながら外パネルに内パネルを差し込んでパネルを組み立てます。
4. パネルをもとどおり窓に取り付け、固定つまみでしっかり固定します。

左側取付の場合

1. 上記「1」を行い、内パネルをはずします。
2. 上記「2」の作業で、柱パッキン⑨の差し込み方向をB'の方向としてあとは同様の作業を行います。
3. 上記「3」「4」を行い、パネルを組み立て、窓に取り付け、固定つまみでしっかり固定します。

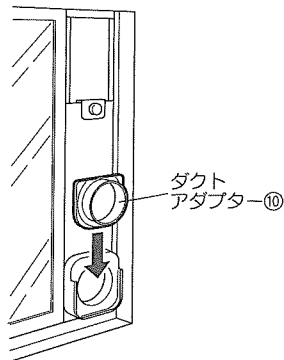
5 パテ詰めをします

- パネル取り付け後は、窓とのすき間から雨水が浸入しないようにパテ⑦を詰めます。特に下側のパテ詰めはしっかり行ってください。その他の箇所も窓とのすき間がある場合は、パテ詰めを行います。

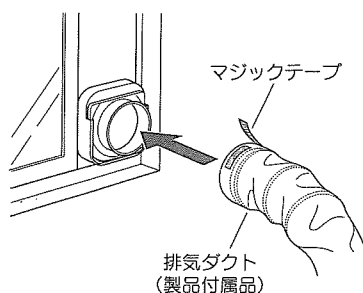


6 ダクトを取り付けます

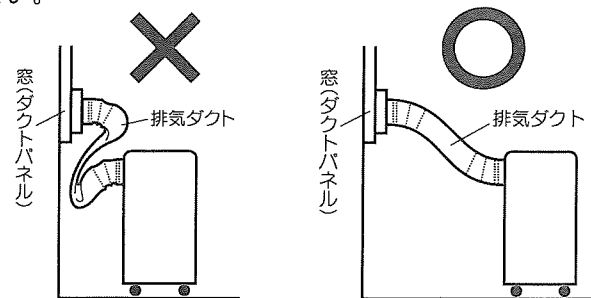
1. ダクトパネルに同梱のアダプター⑩を取り付けます。



2. 排気ダクトをダクトパネルに取り付けたアダプター⑩にマジックテープで取り付けます。



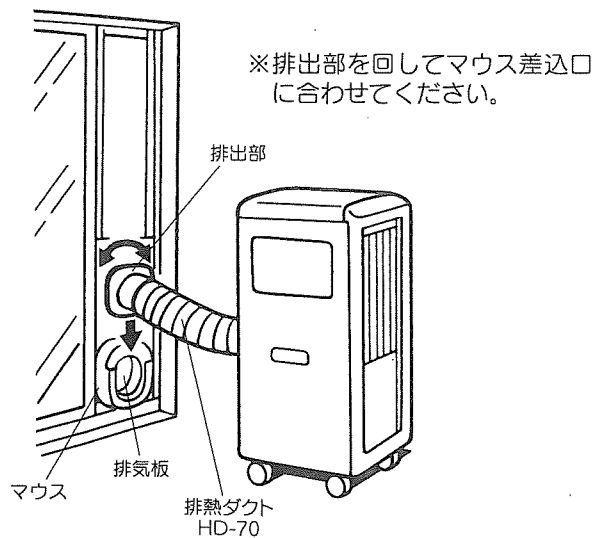
3. 排気ダクトがつぶれないように器具を窓から離してください。



※排気ダクトがつぶれていると、保護制御が作動し、風量が自動的に上昇する場合があります。

CDH-104R, CDW-161をご使用の場合

- ダクトをパネルのマウスに差し込みます。



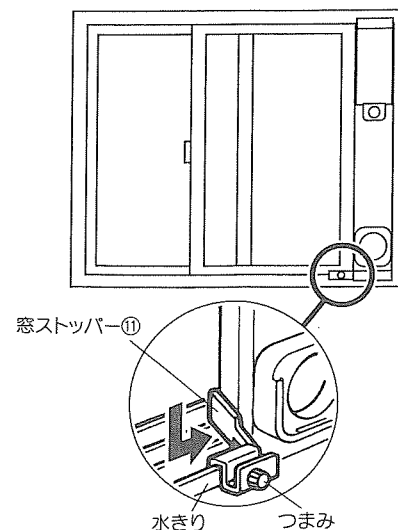
※運転時はパネルの排気板が開きますので、当たらないように必ず窓やあみ戸を開けてご使用ください。

※CDH-104Rをご使用の場合は、別途別売品HD-70（排熱ダクト）が必要です。

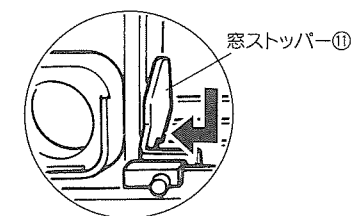
7 窓ストッパー⑪を取り付けます

HDP-50M, HDP-70M, HDP-100M

- 窓ストッパー⑪の溝を水きりに入れ、パネルに押し付けてつまみで固定します。

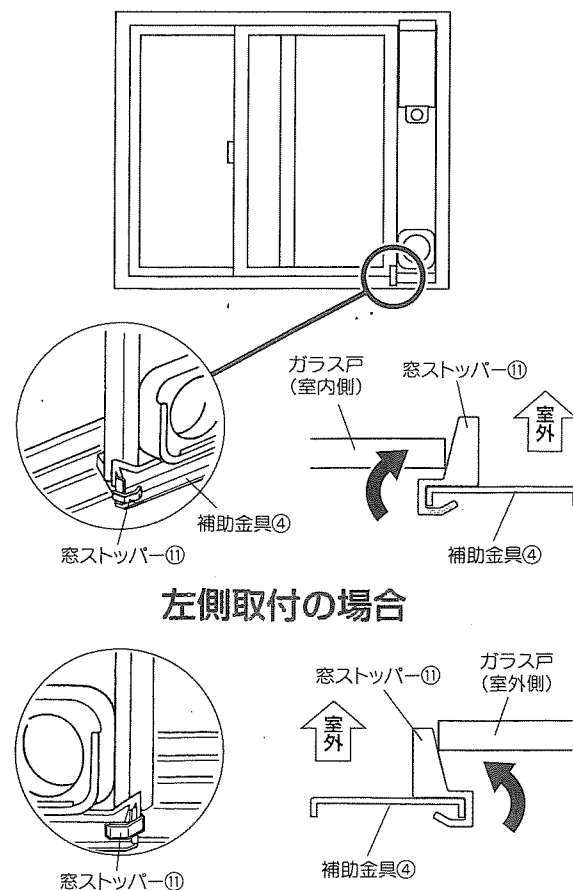


左側取付の場合

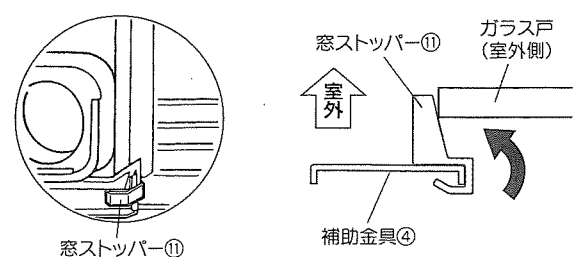


HDP-180M

- 窓ストッパー⑪のひっかけ部を補助金具の端に入れ、回転させ止まったところで窓を止めます。

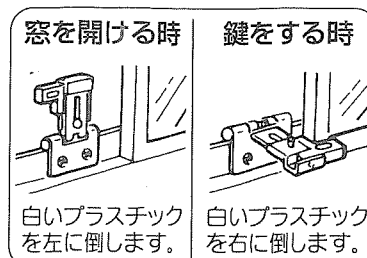
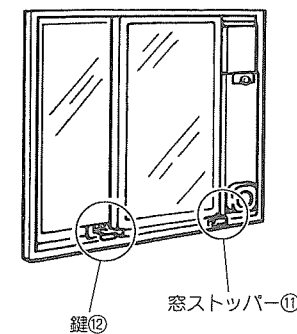


左側取付の場合

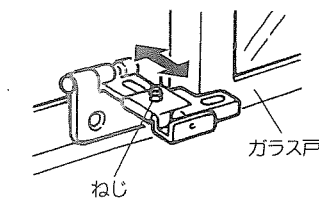


8 鍵⑫を取り付けます

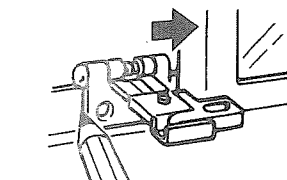
- 使用中の戸締まりのため、鍵⑫を取り付けます。



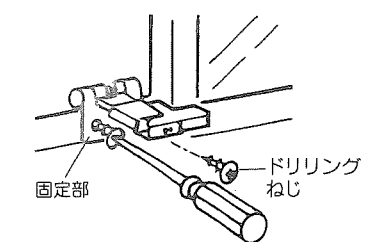
1. ガラス戸の厚さに合わせてねじを調節します。



2. ガラス戸を閉めた状態で取付位置を決めます。



3. 固定部をガラス戸に貼り付け、ドリリングねじで取り付けます。



※窓の構造によって取り付けられない場合は、市販の窓用鍵を利用して戸締まりをしてください。

ご注意

- 窓を完全に閉める時は運転を停止し、排気板が閉じるのを確認してから閉めてください。（排気板が開いていると、ガラス戸にあたり破損の原因になります。）
- 長時間ご使用にならない時や外出される時には、窓ストッパーを取り外し窓を閉めて、窓の鍵をしてください。
- 運転時には排気板が開きますので、当たらないように必ず窓やあみ戸を開けてご使用ください。
- 運転時には、布ダクトのねじれ、つぶれがないように注意してください。